

京極高次・お初(常高院)関連年表

年号	西暦	歴史事項	高次・お初(常高院)関係	その他関連事項
永禄6	1563		高次、小谷城内京極丸にて生まれる(父は高吉、母は浅井長政の姉、お慶) 幼少にして信長のもとに人質にやられる	
永禄11	1568		お初、小谷城にて生まれる(父は浅井長政、母はお市の方)	
元亀1	1570	6月姉川の戦い		
天正1	1573	8月小谷城落城	お初の父長政死す 茶々、初、江の三姉妹は、母お市とともに、信長の弟、信包(のぶかね)の居城、伊勢上野城に引き取られる 高次 11 歳、信長より、近江奥島に5千石あたえられ、成人後の本領安堵を約束される	
天正10	1582	6月本能寺の変 信長死す	高次、明智光秀に加担したため、秀吉に追われ、姉(竜子)の嫁ぎ先の若狭の武田元明をたより、さらに柴田勝家のもとへ お初 15 歳、三姉妹は母と共に、越前柴田勝家のもとへ	
天正11	1583	4月賤ヶ岳の戦い	高次、放浪の身となる 三姉妹は秀吉に引き取られる	勝家、お市死す
天正12	1584		姉竜子が秀吉の側室となり、高次許されて近江高島郡に2千5百石をあたえられ、さらに5千石に加増	
天正15	1587		高次、近江大溝城1万石を与えられる 秀吉の命令で、高次(25歳)お初(20歳)をめとる	
天正18	1590		高次、近江八幡山に2万8千石を与えられる	
文禄2	1593			熊鷹(後の忠高)誕生
文禄4	1595		高次、大津6万石を与えられる	
慶長3	1598	秀吉死す		

慶長 5	1600	9月 関ヶ原の戦い	高次夫妻 東軍に組し、大津城に籠城して西軍 1 万 5 千の兵を足止めにした 11 月、高次 家康より若狭 8 万 5 千石を与えられ、小浜へ	
慶長 6	1601		高次 後瀬山城を廃し、海辺に小浜城築城を始める	
慶長 7	1602			高政誕生
慶長 8	1603			千姫、秀頼へ嫁ぐ 初姫生まれる
慶長 12	1607		小浜の町割を行い、町域を拡大	
慶長 14	1609		高次没す(47 歳) お初(42 歳)出家して以後、常高院と称す	忠高(17 歳)江戸より小浜に帰り、藩主となる
慶長 19	1614	10月大阪冬の陣	常高院 家康の命を受け、和議の交渉にあたる(12 月和議) 常高院 證明寺に梵鐘を寄進	
元和 1	1615	5月大阪夏の陣		大阪城落城(5 月)淀殿(49 歳)、秀頼(23 歳)死す 忠高 この時、徳川方の先陣をつとめる
寛永 6	1629			高次の次男高政没す(28 歳)(小浜 高成寺に墓あり)
寛永 7	1630		常高院 小浜に寺建立を発願	忠高室 初姫 江戸にて没す(28 歳)
寛永 10	1633		常高院 江戸にて没す	
寛永 11	1634			忠高 松江二十六万四千石に移封

…栄昌尼公、若州に帰り、雲浜城の西丸に栖休す。歳有り、又、武江に東遊して、
偶々大將軍秀忠卿、家光公に会謁す。和睦偽謀の事を語りて、半ば恨み半ば欣
ぶ…(凌霄山開基伝)